

都道府県トラック協会では PR動画を配信中

都道府県トラック協会では、業界のPRを目的としたさまざまな動画を配信しており、PR動画を通じて社会的役割の周知や事業者のリクルートをサポートしています。今回は、Webドラマを制作した一般社団法人 滋賀県トラック協会の取り組みを紹介します。

滋賀県トラック協会では、コロナ禍でも走り続けるトラックドライバーの現場を描いたWebドラマ(第3弾)「ありがとう。がつなぐストーリー」を制作しました。短編エピソード3本立てのオムニバス形式で、各エピソードに共通したテーマは「ありがとう」です。

本ドラマは、出演者、撮影場所など、実際に運送に携わっている滋賀県トラック協会会員事業者の方々の協力のもとに撮影されました。

エピソード①

「届けたい想い ありがとう。」

コロナ禍により、息子の誕生日に自宅に帰ることができなくなった単身赴任中のお父さん。誕生日プレゼントと息子さんへの想いを届けるために、コロナ禍でもトラックは走り続けるのでした。



エピソード②

「やさしくなれる魔法の言葉 ありがとう。」

忙しい仕事に少し自分を見失いかけていた、主人公のトラックドライバー。そんな時、集荷先でふと見つけたのは、昔、祖母が読んでくれた「ありがとうの絵本」でした。



エピソード③

「思いやるこそ ありがとう。」

コロナ禍が深刻化する中、いわれなき誹謗中傷を受けるトラックドライバー。思い浮かべるのは「物流が止まれば経済が止まる。人々の生活を支えているのは俺たちや!」の言葉でした。妻はそんな夫の仕事を誇らしく思い、感謝していたのでした。

Webドラマの視聴は
こちらから

